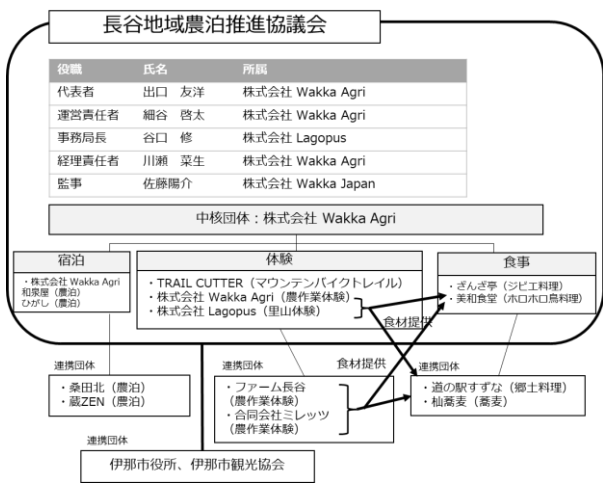


○魅力的な泊(旧商店改修、既存農泊施設のワーケーション対応化)、食(40年間飼育が継続されている希少なホロホロ鳥料理、地元特産のジビエ・山菜・キノコを活用した山師料理)、アクティビティ(地域の豊かな自然環境を活かし、四季を通じた多彩なイベント(田植え、ジビエツアー、MTBトレイル等)開催)コンテンツを提供することで、観光客の質を通過型観光から滞在型観光へシフトさせる。

長野県伊那市村



【実施体制】



【特徴的な取組】

長谷地域は、山間地であるためジビエ・山菜・キノコの産地で、今後、地元名産のホロホロ鳥を使った料理を提供する「美和食堂」、ジビエのフルコースを提供する「さんざ亭」にてメニュー開発を行い、地域の特産品の幅を広げ、食コンテンツを充実させる。



長谷名産のホロホロ鳥



ジビエのフルコースメニュー開発

遊休施設である旧商店を改修し、周辺景観に調和したゲストハウス「和泉屋」(定員20名)を整備する他、農泊「ひがし」の2階部分をコワーキングスペースに改修し、ワーケーション対応ができる宿泊施設として再整備し、長期滞在を促し、滞在型観光を促進する。

【取組内容】

①【1年目】地域ぐるみの農泊とするため、宿泊、食事、体験を担う活動組織の参画により、地域協議会を設立する。【2年目】地域の郷土食や伝統を学ぶワークショップを企画運営する他、泊・食・体験のコンテンツを繋げる仕組み(地域の魅力を包括した協議会WEBサイト作成)を構築する。

②【1年目】棚田での田植えや収穫などの農作業イベント、雄大な南アルプス山麓でかつて麓の人々が入るために使用した古道を活用した日本最長のマウンテンバイクトレイル等、単発だったイベントを連携イベントになるようデザインし、宿泊意欲を高めるワンデイアクティビティに整備。【2年目】整備した上記体験コンテンツのモニターツアーを実施し、更に内容をブラッシュアップさせる。

③【1年目】ジビエ料理のさんざ亭と長谷地域名産ホロホロ鳥が看板メニューである美和食堂の食コンテンツを整備(メニュー開発コンサルタント)し、試食会をする。【2年目】メニュー開発及び試食会を繰り返しつつ、農作業イベント(畝設置作業、解体体験、田植体験)で体験するジビエや米を食材として用いることで、アクティビティと食事の関連性を強化。

④遊休施設(旧商店)を20名程度が宿泊可能なゲストハウス「和泉屋」として改修。アクティビティで体感した田んぼや南アルプスを一望でき、自然と調和したゲストハウスに整備することで、宿泊も魅力的体験に昇華する。また、既存の古民家農泊施設「ひがし」の2階部分をコワーキングスペースに整備することで、ワーケーション可能な施設へ整備し、長期滞在を促す環境を構築する。【1年目】実施設計(ゲストハウス和泉屋)【2年目】実施設計(古民家ひがしコワーキングスペース)・改修工事(両施設)

宿泊施設の対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約

【採択年度】
令和5年度

【事業実施期間】
令和5～6年度



伊那の東照宮「重要文化財 熱田神社」



改修後の旧商店「和泉屋」イメージ図